

竹の内産業廃棄物最終処分場に係る発生ガス等調査について（案）

1 概要

村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場総合対策検討委員会専門部会中間報告において「ガス状物質に関する評価」については、「今後の動態についてももう少しモニタリングする必要がある。」との課題が示されている。この課題を受け、周辺環境への影響を評価するため、処分場及び対照地点で大気試料を採取し、分析定量する調査を行う。

また、処分場廃棄物層内状況を把握するため、昨年実施したボーリング孔内ガスについて継続して調査する。

2 発生ガス等調査

(1) 大気環境試料

周辺環境への影響を評価するため、処分場及び対照地点で大気試料を採取し、分析定量する調査。

- 調査地点 処分場内、対照地点（大河原町、仙台市）
- 調査頻度 1回／4半期
- 調査方法 キャニスター法及び吸着捕集法により試料を採取し、ガスクロマトグラフ質量分析計を用いて定性分析を行う。その主なものについて定量する。

(2) ボーリング孔試料

昨年度実施したボーリング孔内ガスについても、処分場内の状況を把握するため調査する。

- 調査地点 ボーリング孔（4地点）
- 調査回数 2回
- 調査方法 キャニスター法及び吸着捕集法により試料を採取し、ガスクロマトグラフ質量分析計を用いて定性分析を行う。その主なものについて定量する。

(3) 調査

本調査は、「財団法人日本環境衛生センター」に委託して調査する予定としている。（一昨年及び昨年と分析を依頼）

図 竹の内地区産業廃棄物最終処分場発生ガス等試料採取地点



（大気環境調査については上記以外に2対照地点を予定）